

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

令和元年 10月31日号 多治見市教育委員会 教育総務課

さわらび学級高校説明会



多治見市適応指導教室さわらび学級では、通級生の進路選択の一助となるよう、高校説明会を開催しています。本年度は10月4日(金)、岐阜県立東濃フロンティア高等学校、へいせい義塾館高等学院(中京学院大学附属中京高等学校通信制課程サポート校)、菊華高等学校通信制課程&菊武ビジネス高等専修学校、アンファッションカレッジの4校にお越し頂きました。参加者は、通級生と保護者、通級生外の中学生と保護者、市内中学校の校長先生と主幹教諭等27名でした。

各校ともに、それぞれの特徴やよさを、パワーポイントやパンフレットを用いて、丁寧にわかりやすく説明してくださいました。本年度参加していただいた4校は、県立の単位制、通信制、ビジネス、ファッションの専修学校です。それぞれの生徒の個性に応じ、手厚く指導・支援をしてくださる学校であることが説明から伝わってきます。

生徒も保護者も真剣な眼差しで説明に聞き入っていました。将来を考える上で進学先は、3年生にとってはすぐ目の前の重大な選択です。1、2年生にとっても今後の見通しを立てる上で大いに役立つことと思います。今回の説明会が、現在懸命に努力している参加者の進路選択に有意義にはたらき、将来を切り拓く力につながることを強く願っています。

令和元年度 第1回多治見市教育行政評価委員会

10月7日(月)、本年度第1回の教育行政評価委員会を行いました。昨年度からスタートした第2期教育基本計画の進捗について審議されました。

教育基本計画は、教育基本法に基づき、多治見市の子どもたちのよりよい育ちと、本市の教育振興に係る施策の総合的・計画的な推進を図るために策定しています。第1期の計画は平成20年から平成29年度までの10年間、今回の第2期計画は、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間としています。

今期の計画では、これからの時代を生き抜く多治見市の子どもたちに付けた力を「自立力」(困難でも値うちあることなら挑戦し切り拓く力)と「共生

力」(違う立場や考え方、感じ方の他者と折り合いながら調和のとれた幸福を創造する力)とし、その基盤となる「自己肯定感」(根源的・社会的に子ども一人一人が実感できる、自分の存在への小さくとも確かな自信)を全教育活動を通して育成することをめざしています。そのため、「インクルーシブ教育」(一人一人への最適の支援を常に追究しながら共に育ち合う教育)の考え方を基盤とし、教職員の働き方改革の視点も大切にして施策を整理し、子どもの姿で進捗を確かめられるよう事業の評価も数値を生かすようにしました。

学力向上の議題では、各学校の指導改善サイクルをより有効に機能させること、しかし、全国学力学習状況調査や、本年度から小学校2～5年生に導入した到達度評価テスト等の点数を上げることだけが目標とならないようにすることと提言を頂きました。この他、日本語支援の必要な児童生徒への対応に大学生の力を借りること、ジュニアクラブは子ども達にとっても保護者の方にとっても、種目の技能だけでなく、折り合う力など生き方を学ぶ場として大切であること、教職員自身の自己肯定感を高めるようにすることも働き方改革の大切な視点であること等多くの提言を頂きました。

令和元年度 第69回多治見市小学校音楽祭



10月24日(木)、パロー文化ホール大ホールで、市内全小学校の児童が

一堂に会し(午前の部6校・午後の部7校)、第69回多治見市小学校音楽祭が開催されました。1学年で30名に満たない学校、2学年合同で200名を超える学校。発表の形は様々でした。しかし、人数の多い少ないに関係なく、一人ひとりの笑顔や頑張りがはっきり伝わってきました。この日に向けての練習の成果や、それを通して結び合った絆が、息の合ったハーモニーに乗って聴く人に伝わり、会場が温かな空気でも包まれました。

<11月の行事から>

- 8日(金) 中学校音楽祭 パロー文化ホール
12:45 開場 13:00 開演
- 16日(土) 青少年まちづくり市民大会
13:30 パロー文化ホール小ホール
- 30日(土) わがまち多治見大好き講座⑥
「多治見ふるさとしごと塾」

<12月の行事から>

- 9日(月) インクルーシブ教育推進委員会②
- 12日(木) 小学校外国語教育主任研修会
- 18日(水) 教育委員会会議
- 27日(金) 冬休み(1月7日(火)まで。冬休み後最初の登校日は1月8日(水))